

ますか。

()

問3 8行から、14行までの文のうち、大事な中心となる文は、なん行めの文ですか。

()

問4 25行に、「記号には、このほかにもいろいろなものがある。」と書いてありますが、どんなことを例にしていますか。2つ書きなさい。

()

「3に5を足して2を引いた数は、6に等しい。」ということ、これらの記号を使って表わしてみましょう。

$$3 + 5 - 2 = 6$$

となつて、ことばを使うよりも短く、一目で意味を取ることができます。

また、知らない所へ行くときの道案内になる地図にもいろいろな記号が、使われています。学校・ゆうびん局・鉄道・駅・港・山のちよう上・田や畑、川や橋、その他いろいろなものが、記号でかかれています。

ところで、物事を人に知らせたり、考えたことを人につたえたりするのに、ふつうは、ことばを使います。ことばは、ずいぶんこみいったことや、たいへんむずかしいことでも、よく表すことができます。

けれども、道路ひょう

意味をことばをたくさん使わなければなりません

それでは、かえってわかりにくくなってしまいます。このようなきには、ひつようなことが一目でわかる記号を使うほうがべんりなのです。

しかし、このようにべんりな記号も、それが何を表わすか知らない人には、なんのことかわかりません。よく使われる記号は、それが何を表わしているか、よくおぼえておくことがたいせつです。

問5 10行めの「ところで」から、18行目の「べんりなのです。」までの文章は、何について、せつめいしていますか。まとめて、書きなさい。

問6 19行めの「それ」は、何をさしていますか。

()

問7 10行めの「ところで」ということばは、つぎのどんなとき使いますか。よいと思うものの番号に○をつけなさい。

1. 前と同じような話をつづけるとき。
2. 話をかえるとき。
3. 前と、はんたいのことをいうとき。
4. 前につづいて、くわしく説明するとき。

問8 記号のとくちようは、どんなことですか。(14行~18行)

()

テスト (A)

鳥よりもはやく、鳥よりも高く

- ① 自由につばきを動かして、鳥のように空をとぶことができたなら、どんなに楽しいことだろう。——だれでも、こういうことを、一度ぐらい